

International Exchange

国際交流事業を進めています！

東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、町における外国人観光客の受け入れ態勢の整備を図るために2月から3月にかけて2回の国際交流事業を実施しました。

【問い合わせ】 政策推進課 経営戦略係 ☎ (83) 1222

2月24日(金)・25日(土) 滞在型 国際交流ツアー

このツアーは、外国人の視点から見た、町の外国人観光客の受け入れ態勢の現状を把握するために、公益財団法人かながわ国際交流財団に委託して実施しました。

アメリカ、フランス、オランダ、ドイツ、韓国籍の5人の調査員の方に一泊二日で町内の観光施設や商店街などを周遊していただきました。

24日(金)

桜まつり開催中の西平畑公園を訪れ、桜と松田山からの景色を鑑賞した後、ハーブ館で工房を体験し、ふるさと鉄道に乗りしていただきました。

25日(土)

2日目は寄を中心に周遊。ガラス工房での箸置き創作と、マス釣りを体験し、寄ドッグランを見学しました。

ツアー後、調査員からは、「町民がとて親切で、驚いた」「駅前に英語が通じる案内所が必要では」といった声が寄せられました。

今回の調査結果は、町内の国際化に向けた機運醸成のため、報告書に取りまとめるとともに、3月28日(火)の町民の方向け報告会で発表しました。

3月4日(土) まつだ桜まつり

桜まつり開催中の3月4日(土)に、米軍座間キャンプや東海大学などから32人の外国人観光客をお



商店街を歩く調査員の一行



野点は好評でした。



寺子屋の生徒さんからは「英語でたくさん質問できたことはとてもいい機会になった。勉強になった」という感想をいただきました。



中澤酒造での試飲体験。中でも大吟醸の美味しさに感嘆の声が上がりました。

招きし、国際交流イベントを開催しました。桜や吊るし雛鑑賞のほか、松田茶道協議会の協力による野点や折り紙などを通じ日本文化に触れることで、町の魅力を体験していただきました。

また、中澤酒造さんでは、酒蔵コンサートを聴きながら、さまざまな日本酒を試飲し、松田町を存分に楽しんでいただきました。

4月から始まる新しい広聴活動

町長への要望を手紙で送れるようになります



町長への手紙 設置場所

- 役場各階 寄出張所
- 町民文化センター
- 健康福祉センター
- 子育て支援センター
- 寄ふれあい農林体験施設
- 寄自然休養村管理センター

4月から新しい広聴活動として「町長への手紙」制度を開始します。

皆さんが町政運営について日頃お気づきのことや、ご意見・ご要望は、これまでも公式サイトからの「メール」や「地域座談会」を通じてお寄せいただいていたのですが、インターネットを利用しない方や、役場に来ることが難しい方の意見も町政に反映できるよう、今後は手紙でも受け付けられるようになりました。

専用の便せんと封筒を役場や町民文化センターなど公共施設に備え付けますので、内容をご記入の上、役場内の専用ポストか、一般の郵便ポストに投函してください。

いただいた手紙は、町長ほか担当課で検討し、町政に反映させていただきます。内容によって、回答に時間がかかる事もありますが、必ず回答いたしますので、より良い町づくりのために、ぜひ活用ください。

【問い合わせ】 政策推進課 経営戦略係 ☎ (83) 1222

マイスター検定もおもてなし

【問い合わせ】 政策推進課 経営戦略係 ☎ (83) 1222

先月号でもお伝えしましたが、町の歴史・文化・観光などの知識を競い、検定をきっかけに町の魅力を再発見し、町への愛着や誇りを育んでいただくため、2月に「まつだマイスター検定」を実施しました。

問題は「まち」「イベント」「制度」「歴史」に関する問題と筆記問題の5つに別れ、全50問の100点満点で設定しました。制限時間は60分間で、今回参加された11人の方の平均得点は57点、最高得点は68点でした。

「松田町おもてなしマイスター」の認定は90点以上のた面に掲載)

風

くかぜ

責任を未来にツナグ

松田町長 本山博幸

春爛漫のうらかな季節。町民の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

3月の町議会定例会では、平成29年度の予算規模が過去2番目となる大型編成になりましたが、議員の皆様にご審議を賜り、全会一致でご承認を頂きました。全会計で80億を超える予算編成は、松田町の未来のために、今を担う我々が「責任」を果たすために必要な事業を行うという「意志」を積み重ねた結果であり、決して特別な予算を編成した訳ではないことをご理解願います。

さて、昭和初期まで政治家として活躍された後藤新平氏が残した言葉で、「財を残すは下 事業を残すは中 人を残すは上なり」という格言をご存知でしょうか。現代版としては、「お金を残すのは三流、名を残すのは二流、人を残すのは一流」という格言で活用されています。解釈としては、「財産を残すだけでは、将来、事業失敗などで財産を散財させてしまい、事業も人材も育つ保障はないから三流。素晴らしい業績や名声を残したとしても、取り組むべき事業を後世に託すだけでは二流。企業や団体などを永久に残すためには、将来に向けて優秀な人材を育て上げることが一番大切であり、それを成し遂げた者がこそが一流。」と理解できます。

まさに私の使命は、人を育て残すことにあり、それが「松田町の未来」にツナグ事であると考えます。今年度は、過去を検証・清算し、現在と未来をツナグ役割を担う町民の皆様と職員が「オール松田」一丸となつて様々な事業を経験していただくことを目指します。私もこの格言を胸に「責任」をかみしめながら精進してまいりますので、町民の皆様の一層のご理解ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い致します。